

第14期Aコース（ビクトリア州）出発レポート

□ 留学に向けて出発

第14期Aコース研修生（アドバンスクラス）は、オーストラリア・ビクトリア州に向けて令和8年1月19日（月）に出発しました。成田空港では、出発に際して関係者から激励の言葉が送られ、研修生はこれから始まる留学生活に向けて決意を新たにしていました。また、出発前には、パスポートや必要書類の確認、安全面に関する指導が行われ、研修生は東京都の代表としての自覚を持ち、落ち着いて出発手続きに臨んでいました。



<成田空港にて>

□ ビクトリア州到着

研修生は、長時間のフライトを経てメルボルン空港に到着しました。入国時には、必要書類の確認や健康状態の把握を行いながら、安全に入国手続きを完了しました。

□ ホストファミリーとの対面

到着後は、現地機関スタッフの案内のもと移動し、ホストファミリーとの対面を行いました。初めての環境に緊張した様子も見られましたが、落ち着いて行動し、留学生活の第一歩を踏み出しました。研修生はホストファミリー宅から通いながらオリエンテーションを受講しました。



<ホストファミリーと対面>

□ 到着オリエンテーション

到着オリエンテーションは、現地留学機関のオフィスを拠点として実施されました。オリエンテーションでは、現地での生活ルールや安全管理、交通機関の利用方法、都市生活における注意点などについて、具体的な事例をもとに説明が行われました。また、「次世代リーダー育成道場の規則」を確認し、研修生としての責任ある行動の重要性について学びました。

さらに、市内見学や公共交通機関の利用体験、メルボルン大学の見学など、実生活に即した活動が行われ、研修生は現地での生活環境や学習環境について具体的に理解

を深めました。

オリエンテーションの最終日には、これからの留学生活に向けた目標や決意を発表し、「次世代リーダー」としての意識を高める様子が見られました。

□ おわりに

ビクトリア州での留学は、少人数での派遣という特性から、より主体性や適応力が求められる環境となります。その中で、研修生が自ら考え行動し、多様な価値観を理解しながら成長していくことが期待されます。今後の留学生活を通して、次世代を担うリーダーとして大きく飛躍していくことを願っています。



<ビクトリア州立図書館にて>